

び施工の作業計画をたて、電機掛、電力工手長、電力工手を指導して、これらの作業の遂行にあたるものである。

このような職務を遂行するために、電灯分区長は常に担当区域内の電灯および電気機器を巡視し、所属員を督励して保守の万全を期すとともに、工事施行にあたっては、工事の工程、方法等必要な事項を指示して、工事の円滑な遂行を期さねばならない。また毎日担当業務の一般状況を詳細に区長に報告しなければならぬ。(加藤誠次郎)

てんとうぼし **電灯母車** 客貨車では電灯を点灯するために、車軸からベルトまたは歯車によって運転される発電機と、これに組み合わせた12個の蓄電池を一組の電源としているが、この電源装置車を電灯母車という。これに対して電源を装置しない車を電灯子車といい、これに対しては電灯つなぎ線によって電灯母車から送電し点灯している。(菊地直助)

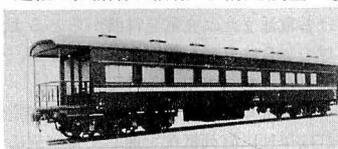
てんば 天端 構築物の上面。たとえば「基礎天端」「石垣天端」等。(松島 甫)

てんばかんりいいんかいせちほう 電波監理委員会設置法 昭和25・5法律第133号で制定されたものである。電波行政は専門的知識を要する行政であり、また公正に行わなければならないので、従来のように一部局でこれを掌っていたのでは完全な事務の遂行ができないから、これを専掌する特別の機関として電波監理委員会を組織し、これを独立官庁として内閣総理大臣の所轄下におき、その所掌事務の範囲および権限、組織等を定めた法律である。電波法・放送法とともに電波関係三法律と称されている。(小島勝之進)

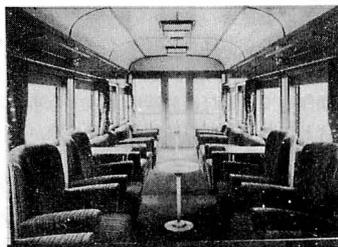
てんばほう 電波法 昭和25・5法律第131号で制定され、同年6月から施行されたもので、電波の利用を規律する基本法である。国際的に分配されたかぎりある電波(周波数)を国家機関、公共団体、私企業、個人などに公平かつ能率的に利用させることによって、社会の総体的福祉を増進するを目的としたもので電波、無線電信、無線電話、無線設備、無線局における通信設備等について規定した法律である。

この法律の公布によって無線電信法(大正4年法律第26号)は廃止となった。放送法、電波監理委員会設置法とともに電波関係三法律と称されている。(小島勝之進)

てんぼうしゃ 展望車 (英) observation car (独) Aussichtswagen 列車の最後部に連結し、旅客が沿線の風景を展望できるように窓を一般の



1等展望車(マイテ58形式)



展望車の展望室

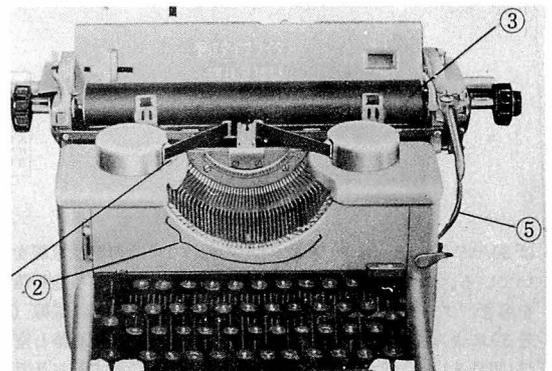
車より特に広くし、後部の出入台に手すりをつけて展望台としたもの、または展望台を設けずその部分を大きなガラス張りとした特殊な客車である。室内は広くし、クッションのよい安楽いすおよび長いすを設備し、空気調和装置を取付けてあるので、ゆったりと休みながら快い旅行ができる。

国鉄の1等展望車は1等車との合造車で、空気調和装置を取付け、後部は展望台となっている。また1等車の乗客は自由に展望室に入れるようになっている。1等車には1人掛の回転腰

掛または自在腰掛を設けてあり、それぞれ折畳みテーブルを備え、給仕を呼ぶための押ボタンが側の腰板に取付けてある。また1等座席のほかに区分室のある車もあり、乗客に簡単な茶菓のサービスができる設備もある。展望室は乗車定員がなく安楽いすおよび長いすを設備し、書だなや机などを取付け、床にはじゅうたんが敷いてある(図-1・2, 1298~1301ページ)。

アメリカの展望車には列車の最後部に連結する車のほかにビスタドームをつけた車がある。このビスタドームは車体の一部または全長にわたって屋根を一段と高くし、座席を設けて周囲をガラスでおおい、四方の風景を高所より展望できるようにした、新しい形の二階式の展望車で、下は普通の座席になっている。乗客は自由に二階の展望室に行けるようになっていて、このビスタドームを有する車は列車の編成の中間に連結することができるので、最後部の展望車の人だけでなく多くの人が風景をたのしむことができる。(林 正造)

てんぼうじゅしんようタイプライター 電報受信用タイプライター (英) typewriting for telegraph 電信通信の受信に際し鍵(けん)盤の操作により印字受信を行うもので、数枚の謄写も可能であるから謄写用にも使用される。この機械は英文タイプライターと同様の構造と機能を有し、鍵盤の収容文字はイロハ48字、数字10字、記号そのほか26文字が2段に収容されている。このほか字隔、後もどり、上下段振分けを行う鍵がある。



電報受信用タイプライター

写真は本機の外観で前面下部の鍵盤1を操作すると、タイプバー2がブラテン3に向かって動作する。タイプバーの先端には鍵に記入された文字と記号に相当する活字が取付けてあるので、インキの浸してあるリボンテープ4を介してブラテン3に巻かれた受信紙に印字をする。ブラテンは1印字ごとに左に移動し、行を変える場合はラインスペースレバー5を左手でもどせば、改行とともに印字は初めの位置から行われる。このほか取扱を容易にするため各種の付属機構が装置されている。(劍持敏治)

てんぼうつうわびょう 電報通話表 鉄道電報を電話により通信する場合、能率的な通信と誤びゅう発生を防止するため、各字音の唱え方を定めたもので次ページ表のとおりである。

また電電公社においても同様のものを制定しているので、公衆電報の電話通信にもこれを使用する。(関根辰雄)

デンマークのてつどう デンマークの鉄道 デンマークの最も重要な交通は伝統を誇る海上交通で、鉄道は地理的条件に制約され、少数の国際連絡路線を除いてはほとんど地方的な意義しかもたない。鉄道の主要な任務は、ドイツとスカンジナビア諸国との間の通過運送を担当すること、農産物を海港および国内の加工地へ搬出することにある。